

～深南部の世界へようこそ～ 中ノ尾根山

メンバー: 古橋 L、久保田 J、設楽(記)

2017.5.13～14

ヒルが出るよ・・藪漕ぎ大変だよ・・

そんな話を聞いて、かねてから気になっていた深南部の山。

深南部といえばこの方、古橋さん。

今回一緒する機会を得た。

船明ダムに 5 時に集合し、そこから車で走ること 2 時間。

駐車スペースにはすでに 3 台の車が止まっていた。

7 時。ここから始まる 3 時間のなが～～い林道歩き開始。

工事中の車も通るので、道は歩きやすいが途中から太陽を遮るものもなく、暑さとの闘い。

気休めに英語が趣味という古橋さんと英語で会話してみる。

思ったよりスラスラ単語がでてくる古橋さんに、ビックリ。

私ではとても太刀打ちできなかった。

テン場は給水ポイントがないということで、登山口近くの湧き水を汲む。



←思ったより水場が遠く、ストックにペットボトルを引っ掛けるという荒業を生み出す古橋さん。

(この先にもっと楽にとれるポイントがありました。)

10時半。やっとスタート地点である登山口到着。倒木が倒れてる辺りで、一瞬進む道を迷った以外は、明瞭な道を進む。指標の一つである兜岩通過。



この辺りから笹が深くなってくる。
手でかき分けながら進むと深南部に来た～！という実感が沸いてくる。
そして広い尾根に出ると視界が開けて、ところどころ雪も残っていた。



尾根に出てからは、太陽を遮る木々も少なく、暑さとの闘い。

15時半、中ノ尾根山頂上に到着するが、願望はなし。

テント設営場所を、雪の上にするか、やけに元気な笹の上にするかで意見が分かれるが、リーダーの判断で笹の上に設置することに。

テントに入ると、暑さにやられたしが、「明日どうする？」と及び腰で聞いてきた。私は「合地山いきたいです！」と即答。

夜は気温も高めで、心配した寒さは全く問題なかった。



翌朝。不要なものをテントに残し、4時半出発。

古橋Lのもと、地図読みの練習をしながら進む。

笹が広がる尾根を勢い良く進む、L。

なんでこんなにスイスイ進めるのか、自分の進む位置を見失いがちな私。一人だったら絶対に迷う自信がある。



しかし遠かったかな、合地山の頂き。

ちょっと早いけど7時、最低鞍部 1940mで引き返すことに。



←鞍部でパシヤ。
顔色の対比がオセロ
のよう・・・



途中途中先頭を行かせてもら
い、獣道に入り込みつつ(も
れなく大量の鹿のウンチが迎
えてくれる)進む。
テン場に戻り、下山開始。

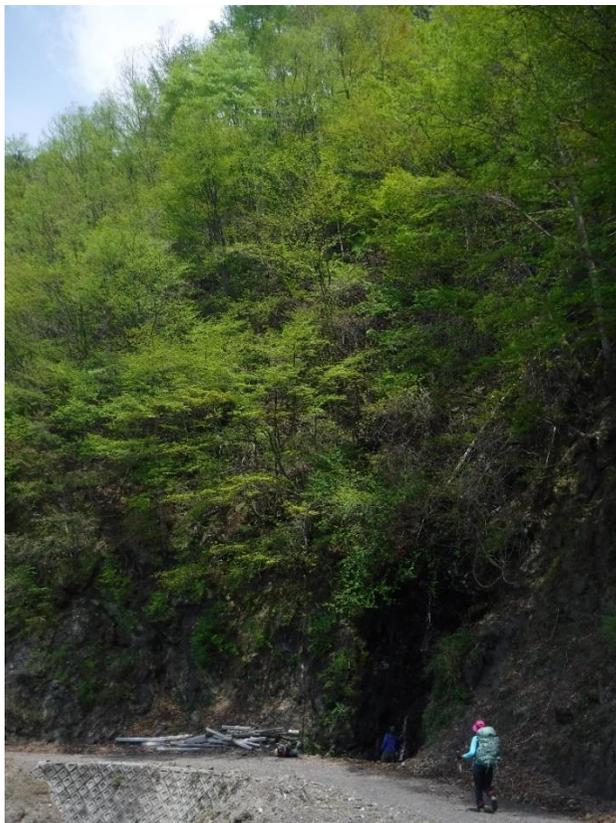
12:30 に登山口に降り立っ
た。

最後の林道は長いとわかっていても、歩いても歩いても車が見えてこない。
暑さにやられ、頭に浮かぶのは冷えたクリームソーダ。(古い?)

でも下山して実際クリームソーダを飲めた試しがないなあと雑念と会話する。
古橋 L は早くも水がなくなったようで、昨日給水した沢の水を補給していた。
私も汲もうか迷ったが、先に汲んだ J さんの「なんか浮遊してる!」という言葉
であえなく断念する。

15 時過ぎ、やっと駐車場へ到着。

下山後寄った温泉場で、ふと見ると脛に切り傷ができていた。



藪漕ぎのとき笹に隠れていた
木の枝で、ぶつけた記憶がある。

深南部の笹藪を歩くときは、笹
に隠れている倒木に要注意で
ある。

心配したヒルには出会わなかつ
たが、マダニー匹と遭遇。
今年も会いましたね・・・マダニさ
ん・・・

～終～

